



瑞穂野中だより



第 6 号 R7.10.2 発行者 校長 二宮清美

瑞穂野中 HP

☆1・2年生 頑張りました！！

9/24～26は、1年生の冒険活動教室、9/26は、2年生の東京班別活動学習が行われました。1年生は、秋晴れの中、自然を感じながら、みんなで協力して活動を行いました。2年生は、今年度から立志スキー体験学習に代わり、上野恩賜公園内で、文化や芸術等に触れ、班で協力して見学を行いました。どちらも時間や決まりをしっかりと守り、終始笑顔で活動を終えました。



☆地域の方にお世話になっています。2年生 総合的な学習 稲刈り

9/18（木）快晴の中、食農体験でお世話になっている増淵農園で、稲刈りを行いました。お米の高騰を知っているため、例年よりも生徒たちは、丁寧に稲を刈ることができました。収穫したお米を、この後給食で食べることが楽しみです。



☆交通安全教室(スケアードストレイト方式)

9/8（月）に宇都宮南警察署交通係長 齋藤様、宇都宮市役所生活安全課防犯・交通安全 G 上野様、株式会社ワースル様、全国被害者支援ネットワーク理事 和氣様を講師にお迎えして、交通安全教室を行いました。

始めは、株式会社ワースル様のスタントマンによる迫力ある交通事故の再現を校庭で見学しました。次に、体育館で、和氣様の「命の大切さを学ぶ教室」で交通事故がもたらす被害者遺族の悲しみや命の尊さ、被害者支援のあり方についての講話をききました。また、体育館には、何人かの被害者の方の状況がわかるパネルも設置しており、生徒たちはじっくりと読む姿が見られました。（以下、生徒の振り返りシートから感想を抜粋します。）

・事故の現場を始めてみました。予想以上に怖かった。また、交通ルールを守っている人が

守っていない人に命を奪われてしまうことはおかしいと改めて思った。「自分くらいルールを破っても大丈夫」という考えはなくさないといけないと思う。(1年小園さん)

・実際に事故を再現していて、もし自分だったら思うとぞっとした。どうすれば防げるのかも学びました。また、一人の女性の命を事故で奪われてしまったと話聞き、とても心が痛くなりました。もし自分が、家族が、お友達が、と思うと悲しくなります。(2年葛原さん)

・実際に事故の様子やその恐ろしさを目で見て、耳で聞いたことで、事故に対する意識や恐怖がより高まりました。また、事故にあった被害者の家族の気持ちを初めて知りました。心から交通事故の恐ろしさやどれだけ人の人生を変えてしまうのかがわかりました。自分の子がなくなり悲しい気持ちなのに一生懸命話をしてくれたことに感謝します。(3年橋本さん)



☆学校の電話 自動音声応答アナウンスの設定時間の変更について

先日、さくら連絡網において、県が発出した「学校における働き方改革に係る保護者・地域向けリーフレット」とお知らせを送付したところであります。今後、働き方改革をさらに推進するため、勤務時間外の電話対応につきまして、下記のとおり見直いたします。保護者の皆さまにおかれましては、本件の趣旨を御理解の上、円滑な学校運営に御協力くださいますようお願い申し上げます。

1 自動音声応答アナウンスの設定時間について

(1) 平日

・ 学校の勤務時間外

本校の勤務時間は、午前8時00分から午後4時30分まで

※欠席等の連絡については、引き続き、さくら連絡網にてお願いします。

(2) 学校の休業日等(土日・祝日、年末年始、運動会など学校行事の振替など)

・ 終日(土曜授業や学校行事等を実施する場合を除く)

2 運用開始日

・ 令和7年10月16日(木)から ※第2学期始業の日

3 緊急事案発生時の連絡について

- ・ 児童生徒の生命や安全に関わる緊急事案が起きた場合は、警察(110番)、消防(119番)に通報をお願いします。
- ・ 自動音声応答設定後は、学校電話の着信音が鳴りませんので、ご承知おきください。
- ・ 「交通事故で救急搬送された」、「学校から帰宅せず行方不明である」など、児童生徒の生命や安全に係る緊急事案は、宇都宮市教育委員会の連絡先(632-5115)にも御連絡ください。事案に応じて教育委員会から本校教職員に情報が伝達されます。